

UNCITRAL Japan Seminar 2014

「アジアの視点から見た国際投資紛争解決制度の展開」
(UNCITRALアジア太平洋センター・国際商取引学会共同主催セミナー)

日時: 2014年10月25日 (土)

会場: 同志社大学・今出川キャンパス・良心館

9:30~9:40 開会の挨拶

9:40~10:20 基調講演

ルノー・ソリユール (国連国際商取引委員会事務局長・国連法務事務所国際取引法部長)

Session1: 国際投資紛争解決の概観

10:25~10:45

玉田 大 (神戸大学法学研究科教授)

「国際公法の視点から見た国際投資紛争解決制度」

10:45~11:05

トニー・アンドリオティス(Special Counsel at Hughes Hubbard & Reed, Tokyo Office)

「国際投資紛争解決の現実：Yukos事件からの示唆」

11:05-11:20 <休憩>

11:20~11:40

大貫雅晴 (日本商事仲裁協会常任理事・大阪事務所長)

「国際投資紛争解決制度の展開とアジアの仲裁機関の役割」

11:45~12:30 質疑応答及び討論

<昼食休憩 12:30~14:00>

Session 2: UNCITRAL作成による諸規則とその実務へのインパクト

14:00~14:05 概要説明

14:05~14:25 瀧本正太郎 (京都大学法学研究科教授)

「投資仲裁の透明化に関するUNCITRAL条約とUNCITRALモデル仲裁規則」

14:25~14:45 チャンクック・リム (UNCITRALアジア太平洋地域センター・法務官)

「国際投資紛争解決制度に関するUNCITRALの作業について」

14:45~15:05 スーヒョン・リー (国連大学=東京大学国際経済法専攻・Ph.D研究者)

「投資紛争解決にける公益保護条項とその影響」

<15:05~15:20 休憩>

15:20~15:40 シュンギ・キム (延世大学法学専門大学院教授)

「国際投資紛争解決に対する韓国の対応について」

15:40~16:00 中村和彦 (外務省国際法局経済条約課長)

「国際投資紛争解決制度に対する日本政府の対応について」

16:00~16:20 蔡 从燕 [CAI Congyan] (厦門大学法学院教授)

「中国から見た国際投資法と投資紛争解決における最近の展開」

16:30~17:10 質疑応答及び討論

17:10~17:20 閉会の挨拶

協力団体・組織

日本商事仲裁協会 (後援)

大阪弁護士会

日本仲裁人協会関西支部

同志社大学・国際ビジネス法務研究センター(RECITAL)

神戸大学法学研究科シチュエーションナルトレーニング・プログラム

神戸大学国際推進機構アジア総合学術センター

JAMA (日本Vis Moot 同窓会)

参加登録

- 参加費は無料です。参加登録は国際商取引学会のHP (<http://aibt.jp>) からお願いします。